

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2022	開講キャンパス	都城	開設学科	園芸学専攻				
科目名称[英語名称]	植物病理学特別実験[Experiment of Plant Pathology for Master's Course]				授業形態		講義・実験		
科目コード	642584	単位数	12	配当学年	1・2	実務経験教員担当		アクティブ ラーニング	○
教員氏名	菅野 善明								
授業概要	修士論文の研究課題を次の項目から選択します。 1. 園芸病害特に新病害の診断・同定及び発生生態 2. 園芸作物病害の病原菌に対する拮抗微生物の探索と機能評価及びその利用法 3. 園芸作物に対する生育促進根圏細菌の探索と機能評価及びその利用法 選択した研究課題に取り組み修士論文を完成させます。								
関連する科目	植物病理学特論I、植物病理学特論II、植物病理学特別演習I、植物病理学特別演習IIを履修することが望ましい。								
授業の進め方と方法	担当教員と研究課題について、情報の精査、実験計画、実験結果の取りまとめ方、考察、今後の実験の進め方について議論し取り組みます。								
授業計画	修士論文に関する研究課題を企画・立案・実施し、修士論文として取りまとめます。								
	1. ガイダンス 修士論文作成にあつたでの研究の進め方・注意事項について説明します。								
	2～4. 修士論文テーマ選定:各テーマの研究動向調査 現在、問題となっている植物病害についての研究動向を調査します。								
	5～8 関連論文の探索・収集 現在、問題となっている植物病害について論文検索による情報収集を行ってもらいます。								
	9～12. 修士論文テーマの選定 収集した情報を基に修士論文のテーマとして成立する研究課題について議論し、テーマを選定します。								
	13～15. 関連論文の精査:病原体(微生物) 選定した研究テーマの関連論文を収集し、精査します。								
	16～20. 実験計画の立案 収集した情報を基に綿密な実験計画を立てます。								
	21～70 実験の実施 実験計画に基づき、実験を行います。								
	71～72 実験計画の見直し 計画通り実験が進んでいるか随時確認します								
	73～75 学会発表 得られた実験結果をとりまとめ学会で発表します。								
76～85 実験の追試 実験結果をより正確なものにするため実験を繰り返し行います。									
86～90 修士論文作成 得られたデータをもとに考察し修士論文を作成します。									
学位授与の方針(DP)との 関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力	(1)	○	(2)	○				
	2. 汎用的技能を応用し活用する能力	(1)	○	(2)					
	3. 人間力、社会力、国際性の涵養	(1)	○	(2)			(3)		
		(4)	○	(5)					

授業の到達目標	一つ一つの 研究・実験を行うにあたり、目的、材料および方法、結果および考察をまとめ、教員と議論します。
授業時間外の学修	【予習】随時、修士論文テーマに関連する論文を収集、精読し理解を深める。日々修士論文テーマに関連のある論文の収集・精読および研究実験に取り組むんでください。(1時間程度/日) 【復習】得られた実験結果を指導教官と考察し、速やかに取りまとめるようにしてください。(1時間程度/日)
課題に対するフィードバック	一つ一つの 研究・実験を行うにあたり、目的、材料および方法、結果および考察をまとめ、教員と議論します。
評価方法・基準	修士論文の新規性、内容、まとめ方、評価方法 完成度、発表態度などを総合的に評価する。取り組み姿勢(30点)と修士論文の完成度(70点)で採点する。
テキスト	特になし
参考書	特になし
備考	